



道の駅 vol.7

たいら

Taira



①五箇山和紙工芸品の数々。②白壁に黒い屋根の外観。壁には和紙漉きの大きな写真。
③相倉合掌造り集落。静かな山あいの集落に今も人々が暮らす。

ACCESS MAP



大自然に囲まれた五箇山で 和紙を漉いてみませんか

道の駅たいら「五箇山和紙の里」は、富山県南西部に位置する南砺市にあり、五箇山は、旧平村、旧上平村を合わせた地域の総称です。江戸時代、加賀藩の手厚い保護によって発展した五箇山和紙は、風合い豊かで、強靱さと優美さを併せ持ち、国の伝統工芸品に指定されています。敷地内にある和紙体験館では、実際に和紙を漉いて押葉を入れ、はがきやしおり、うちわづくりに楽しめます。

ひと足のばせば、平成7年ユネスコの世界遺産に登録された相倉合掌造り集落。豪雪地帯ならではの急傾斜の切妻造り・茅葺き屋根の民家の背後には雪崩を防ぐための雪持林が広がります。山々の景色と溶け合った田畑、土蔵、寺院などふるさとの温もりがあふれた村は全国からの観光客を魅了しています。

駅長に聞きました!



古瀬順真 駅長

道の駅たいらでは、「第16回 全国和紙ちぎり絵展」を五箇山和紙の伝承普及の一環として実施しています。毎年全国各地から200点余りの応募があり、いずれも素晴らしい作品が寄せられています。入賞作品は9月15日から10月28日にかけて和紙体験館などで展示します。

10月6・7日には「五箇山和紙まつり」を開催し、和紙すき体験など秋の五箇山を楽しんでいただくことになっています。是非お立ち寄りください。

DATA

■富山県南砺市東中江 215
TEL.0763-66-2403
■営業時間 / 8:30~17:00
(和紙体験館)
定休日 / 年末年始
■<http://washi.city.nanto.toyama.jp/>



和紙の名産地にある道の駅

おがわまち

— 埼玉県比企郡小川町 —

「武蔵の小京都」と呼ばれる小川町は、1,300年の歴史を持つ小川和紙の産地です。駅併設の埼玉伝統工芸会館では色々な種類の和紙を作ることができるほか、県指定の伝統的手工芸品の展示やさまざまな作家の特別展の鑑賞もできます。

http://www.ktr.mlit.go.jp/honkyoku/road/eki/station/sai_ogawamachi/index.html



自分だけの和紙を作ることができます。

安達 智恵子の里

— 福島県二本松市 —

高村光太郎の妻・智恵子が愛した“安達太良(あだたら)山とほんとうの空”がある二本松市は、上川崎和紙の産地としても有名です。和紙伝承館で和紙漉き・工芸品製作体験ができます。日本トイレ学会のグッドデザイン賞を受賞した“おもてなトイレ”もぜひご利用ください。

<http://www.michinoeki-adachi.jp/index.html>



和紙商品の製作・販売も行っている。